

(I) 資料 I を見て、アメリカ合衆国の生活様式が大量生産・大量消費である理由を考えてみよう。

--

- (2) 資料Ⅱから、自分の生活でも身近になっているものを挙げてみよう。

--

- (3) 多くの国に販売や生産の拠点をもち企業を何といいますか。

--

(I) 資料Ⅲから読み取れるアメリカ合衆国の課題を挙げ、その解決策を考えてみよう。

--

- (2) 資料Ⅳから読み取れるアメリカ合衆国の課題を挙げ、その解決策を考えてみよう。

課題	
解決策	

国名	来日人数 (百万人)
アメリカ合衆国	85.4
カナダ	65.0
日本	61.6
ドイツ	60.7
韓国	43.8
中国	15.2

[illegible]

アメリカ合衆国
2.4億(2015年)

燃焼 12.8% リサイクル 34.7 埋め立てなど 52.5

EU28か国
2.3億(2016年)

5.6% 47.7 46.7

日本*
0.4億(2017年)

80.3% 18.7

1.0

ガソリンの消費(供給)量

国	消費(供給)量 (億t)
アメリカ合衆国	57.3%
中国	11.5
その他	35.6
カナダ	2.9
ブラジル	3.0
メキシコ	3.0
日本	3.6
ロシア	3.1

二酸化炭素の排出量

国	排出量 (億t)
中国	28.2%
アメリカ合衆国	14.5
インド	6.6
ロシア	4.7
ドイツ	2.2
日本	3.4
その他	40.4

◆ 持続可能な社会を目指す上で、アメリカ合衆国の生活様式にはどのような課題があるのか、説明しよう。
